

肢体不自由教育部門 高等部 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和5年11月9日(木) 第3校時 11:20～12:10

1 単元名 「防災について学ぼう」～もしもに備えた体験をしよう(地震編)～

2 単元設定の理由

(4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実」、副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりから、プロジェクターやパワーポイントの活用をしていく。本学級の生徒は画面に表示されている画像や映像に注目することが多いため、プロジェクターに投影したパワーポイントで学習内容を確認したり、映像を投影することで視覚的にイメージしやすくしたりすることで理解を深めていきたい。また、パワーポイントを活用して画像や映像を取り入れながら説明することで、言葉だけでは伝わりにくいものをイメージしやすくし、新たな情報や知識を少しでも増やしていきたい。

3 単元の指導目標

(1) 単元の共通目標

- 教員と一緒に体験しながら、災害や防災について関心を持つことができる。(知識及び技能)
- 防災に関する学習を通して感じたことを自分なりの表現で伝えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 防災に関する学習を友達や教員と一緒に活動しながら意欲的に取り組むことができる。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 単元の個人目標

生徒名	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A	○教員と一緒に防災について体験しながら学ぶことで、災害時自分の身を守るために大切なことに関心に向け、普段と異なる環境・雰囲気慣れることができる。	○防災学習を通して感じたことを絵カードの提示や教員の言葉掛けを受けて、視線や身体の動きで相手に伝えることができる。	○防災学習について友達や教員と一緒に活動し、初めてのことにも意欲的に取り組むことができる。
B	○教員と一緒に防災について体験しながら学ぶことで、災害時自分の身を守るために大切なことに関心に向け、普段と異なる環境・雰囲気慣れることができる。	○防災学習を通して感じたことを教員の言葉掛けを受けて表情や発声、身体の動きで相手に伝えることができる。	○防災学習について友達や教員と一緒に活動し、学習内容に興味を示し、意欲的に取り組むことができる。

4 指導計画（本時6 / 11時間）

時数	主な学習内容	取り扱う教科等及び内容
1	○災害について知ろう	○小学部生活1段階 イ安全 ・安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けること。(知識及び技能)
2	○地震が起こるとどうなるの？	
3		○高等部理科2段階 B地球・自然 ・地震がもたらす自然災害による地域の変化について知る。(知識及び技能)
4	○もしもに備えた体験をしてみよう① ・火災編	○小学部生活1段階 イ安全 ・身の回りの安全に気付き、意欲的に学んだり、生活に生かそうとしたりする。(学びに向かう力、人間性等)
5	○もしもに備えた体験をしてみよう② ・大雨編	○中学部社会1段階 ウ地域の安全 ・学校周辺や自分たちの住んでいる地域における災害への備えや対応について、意欲的に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)
6 (本時)	○もしもに備えた体験をしてみよう③ ・地震編	
7	○校内の防災設備を探しに行こう	○小学部生活1段階 イ安全 ・身の回りの安全に気付き、教員と一緒に安全な生活に取り組もうとすること。(思考力・判断力・表現力等)
8		○中学部職業・家庭1段階 B情報機器の活用 ・コンピュータ等の情報機器での写真撮影方法を知る。(知識及び技能)
9	○非常用持ち出し袋について知ろう	○小学部生活科1段階 イ安全 ・安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けること。(知識及び技能) ○中学部社会1段階 ウ地域の安全 ・災害に対する備えとして防災リュックや非常食の用意について確認をする。(思考力・判断力・表現力等)
10	○学習してきたことをまとめよう	○小学部生活科1段階 イ安全
11	～防災ノート作り～	・安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けること。(知識及び技能)

5 本時の学習

(1) 本時の共通目標

○日常と異なる環境に慣れ、落ち着いて行動することができる。(学びに向かう力、人間性等)

(3) 本時の展開

時間	学習活動	○個別の支援(手立て)・指導上の留意点 ◇評価の観点		備考
		A (T2)	B (T1)	
導入 5分	1 始まりの挨拶	・授業の始まりを意識できるように、姿勢や向きを整えたり、言葉掛けしたりする。(T1、T2)		・PC

	<p>2 前回の振り返り</p> <p>3 本時の活動内容の確認</p>	<p>・前回の学習を視覚的に振り返ることができるように写真やスライドを提示する。(T1)</p> <p>・スライドを提示しながら、視覚的にも活動内容がわかるように説明をする。(T1)</p>		
<p>展開 3 5 分</p>	<p>4 防災ソング『こわがりヒーロー～地震編～』を歌う</p> <p>5 体験① 地震のバーチャル動画を見て、疑似体験する。</p> <p>6 体験② 停電した部屋での生活体験 (1) 暗闇に慣れる</p> <p>(2) 手作りランタンの明かりを体験</p>	<p>・災害（地震）が起きた時に大切なことを一緒に歌ったり、身体を動かしたりしながら行う。</p> <p>○T2は、画面に注意が向くように言葉掛けをする。</p> <p>○T1は、画面に注意が向くように指差しや言葉掛けをする。</p> <p>・地震発生映像が流れたら、「頭を守る」行動がとれるように、教員は周りにあるものを使用して生徒の安全を守る行動をする。(T1、T2)</p> <p>○T2は、大きな音や映像に怖がらないように言葉掛けをしながら支援をする。</p> <p>○T1は、画面に注意が向くように指差しや言葉掛けをしながら行う。また、大きな音や映像に怖がらないように支援をする。</p> <p>◇教員の言葉掛けを受けて、落ち着いて行動することができたか。</p> <p>◇教員の言葉掛けを受けて落ち着いて行動することができたか。</p> <p>・教室内のカーテンを閉め、電気を消す。(T1)</p> <p>・T2は、T1が準備中は、生徒A、Bの間に立つ。</p> <p>○T2は、消灯後は生徒の発作に特に注意を払って支援をする。</p> <p>○T1は、消灯後は経鼻チューブに生徒の手が引っかからないように特に注意をしながら支援をする。</p> <p>・懐中電灯のみ、懐中電灯+ペットボトルでの明るさの違いを見せる。(T1)</p> <p>・懐中電灯の明かりの方に注目できるように指差しや言葉掛けをする。(T1、T2)</p>		<p>・PC</p> <p>・歌詞カード</p> <p>・PC</p> <p>・懐中電灯</p> <p>・水の入ったペットボトル</p> <p>・絵本</p>

	(3) アルミブランケット	<p>・アルミブランケットの使い方(寒さ対策など)を説明した後に、生徒に体験させる。(T1)</p> <p>○T2は、素材の感触を手で触れた後に、肩回りや膝にアルミブランケットをかける。</p> <p>◇教員と一緒に防災グッズの使い方を体験しながら、手作りランタンを注視するなど興味を示すことができたか。</p>	<p>○T1は、アルミブランケットの扱い方について一緒に触れながら体験させる。</p> <p>◇教員と一緒に防災グッズの使い方を体験しながら、アルミブランケットに自ら手を伸ばし興味を示すことができたか。</p>	・アルミブランケット
まとめ 10分	7 本時の振り返り	<p>・振り返りシートを活用する。(T1、T2)</p> <p>○T2は、振り返りシートを目線の位置に提示したり、本時に使用したものを見せたりしながら振り返りを行う。</p>	○T1は、振り返りの時に本時に使用したもの等も提示したり、言葉掛けしたりしながら振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・PC ・振り返りシート ・ペン ・バインダー
	8 次回の内容確認	<p>・次回の内容について、スライドで写真を見せながら説明をする。(T1)</p> <p>・T2は、生徒A、Bが画面を注視できるように指差しや言葉掛けをする。</p>		
	9 終わりの挨拶	<p>・授業の終わりを意識できるように、姿勢や向きを整えたり、言葉掛けしたりする。(T1、T2)</p>		

6 本時の評価

(1) 本時の共通目標に係る評価の観点

○日常と異なる環境に慣れ、落ち着いて行動することができたか。(主体的に学習に取り組む態度)